



【医学用語解説】

離断性骨軟骨炎とは、成長期(8歳～14歳)に発生する、その名のとおり、関節内の軟骨片が骨とともに離脱する障害でスポーツ動作が誘引となることがほとんどです。

発生場所は膝関節、肘関節が圧倒的で、足関節に起こることもあります。Stageが進むと骨・軟骨片は関節内に脱落(関節鼠)、locking を起こすため、膝では半月板損傷と非常によく似た臨床像となります。肘では投球性肘関節障害(野球肘)の病態の1つと考えられています。

早期発見・早期加療が重要です。